

JELLY BEANS Group

# Project ZERO

ジェリービーンズグループ、AIカメラ1万台プロジェクトの主導へ  
5社連合を統括し2030年に向けた超巨大ストック型収益基盤の構築を加速

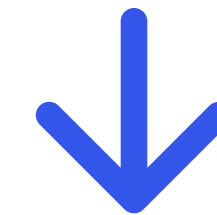
# 1

## はじめに 社会インフラを 取り巻く環境の変化

これまでの安全管理は「人の目」が主役でした。  
しかし、深刻な人手不足と高齢化により、  
そのモデルは限界を迎えています。

### Before

人力による監視、属人的な  
安全管理、事後対応のコスト増



### After

AIによる自動化、データに基づく  
予測、未然防止によるコスト最適化

# 2

## 「見守り」が機能しない本当の理由

現場で「AIカメラを導入しても活用しきれない」と言われる背景には、個別の技術力不足ではなく「実装と運用の仕組み」が存在しないという構造的な問題があります。

デバイスを買っても「設置・保守」の担い手がいない。

映像は撮っているが、それを「判断材料」に変える解析基盤がない

現場ごとに場当たりの対応になり、全国展開ができない



# 3

## 解決策

# Project ZERO

Project ZEROは、  
2030年までにAIカメラ「IDEA」を  
全国10,000台設置を目指す5社  
コンソーシアムによるプロジェクトです。



# 4

## 2030年までにAIカメラ10,000台設置・ 事故ゼロ社会を目指すプロジェクト

5社コンソーシアム「ZERO Alliance」による全国規模のAIカメラ設置・運用プロジェクト

### コンソーシアム参加企業

**JELLY  
BEANS**  
Group

**ID**  
INTELLIGENCE DESIGN  
DESIGN FOR FUTURE WITH ARTIFICIAL INTELLIGENCE

  
KYOSHO

株式会社 **共ショウ**

 Human Network  
**OGAWA**

 株式会社 **共立電照**

# 5 AIカメラ「IDEA」について

プライバシー保護をベースに1st Partyデータの取得を実現するAIカメラソリューション



✔ 特許出願申請中（特願2024-001338）

検索モデル生成システム、検索装置、  
検索モデル生成方法及びプログラム

✔ 特許出願申請中（特願2021-042868）

情報処理システム、  
情報処理方法およびプログラム

製品名	IDEA（Intelligence Design Edge Analytics）
認識精度	99%（カウント精度95%、属性取得率80%超）
解析機能	歩行者・車両・群衆の行動解析、属性認識、滞留検知など随時更新
稼働期間	最短2週間で稼働開始。既設カメラの活用も可能
セキュリティ	ISO/IEC 27001・プライバシーマーク取得
導入実績	渋谷区、岡山市、名古屋市、秋田市、小田急、東急など全国主要都市・交通インフラ

# 6 各社のコア強みを分担し、全国設置・保守体制を構築

企業	主な役割	強み
<a href="#">ジェリービーンズグループ</a>	PM・戦略推進・投資	東証上場・投資家NW・グループ連携
<a href="#">Intelligence Design</a>	製品・データ基盤	IDEA開発・AI解析・クラウド・資金調達
<a href="#">共ショウ</a>	調達・代理店・工事	産業資材の幅広い調達力・全国ネットワーク
<a href="#">小川電機</a>	調達・代理店・工事支援	電材150万点・セキュリティ・保守体制
<a href="#">株式会社共立電照</a>	電気設備・設計・製造、施工管理	電力インフラ、防災、環境省エネ事業に精通

# 7 ジェリービーンズグループが 全体PM・戦略推進でプロジェクトの推進力を担保

上場企業としてのガバナンス・調達/提携推進力とグループ連携資源

## 役割概要

- ✓ 全体プロジェクトマネジメント  
プロジェクトの統括・進捗管理・資源配分
- ✓ 戦略推進  
市場分析・事業計画・収益モデル設計
- ✓ 投資・資金調達  
ID社への2億円出資・投資家ネットワーク活用

ID社への出資：2億円 (今回増資の割当先)

## 提供価値

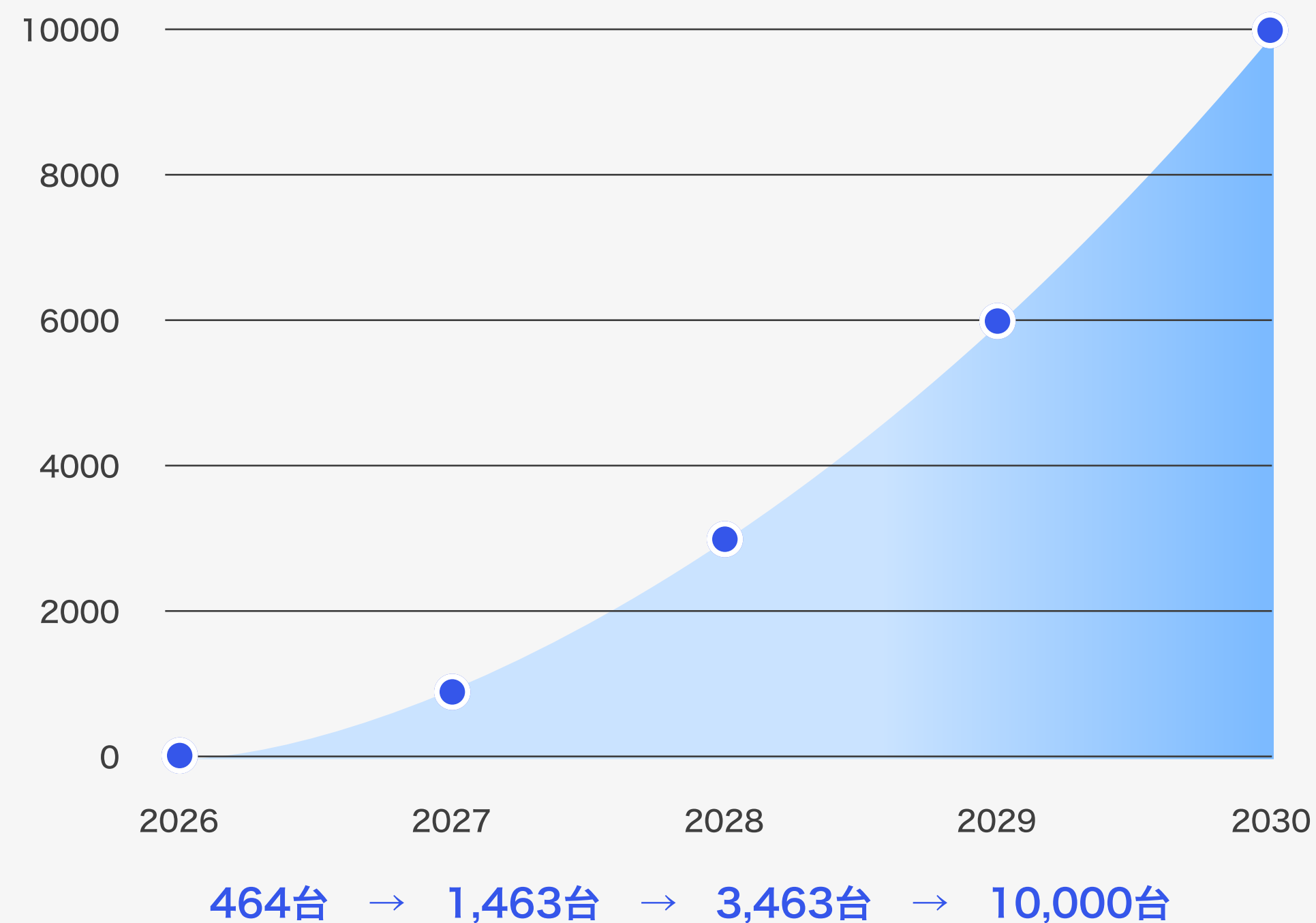
- ✓ グループ連携  
既存のスポーツDX、音楽AI  
事業とのシナジー効果
- ✓ 投資家ネットワーク  
東証上場企業としての投資家  
ネットワーク活用
- ✓ 資源配分  
グループ内の資源・技術の  
最適配分
- ✓ 提携推進  
外部パートナーとの調整・  
契約管理

AI×社会インフラ領域への戦略的参画

# 8 段階的な台数拡大と投資実行で 2030年のスケール到達を目指す

フェーズ制により調達・設置・  
保守の全国体制を拡充

目標設置台数の推移



フェーズ

2026 Phase 1 累計464台

2027 Phase 2 累計1,463台

2028 Phase 3 累計3,463台

2030 Phase 4 累計10,000台

# 9 スポーツDXとフォトロイドミュージックで 3本柱AI戦略を構築

Project ZEROとの連携で、映像・音楽・空間データのAI事業ポートフォリオを強化

## スポーツDX

NTT Sportict 提携



### AIカメラ活用：スポーツ映像配信

AIカメラを用いた自動撮影・配信技術を活用し、地方自治体や競技団体と連携

- ✓ アーバンスポーツ自動撮影
- ✓ ライブ配信プラットフォーム
- ✓ スポーツDXソリューション

## Project ZERO

AIカメラ10,000台

### Project ZERO

### 空間データ解析：事故ゼロ社会

2030年までにAIカメラ「IDEA」を全国1万台設置し、安全・安心を守る

- ✓ 歩行者・車両行動解析
- ✓ エッジAI処理
- ✓ 全国設置ネットワーク

## フォトロイドミュージック

AI音楽制作



### AI音楽制作：写真から楽曲生成

写真やテキスト、気分を入力するだけで、専門知識なくともオリジナル楽曲を生成

- ✓ UGC市場参入
- ✓ SNS連携・コンテンツ蓄積
- ✓ 多言語対応（日/英/中）

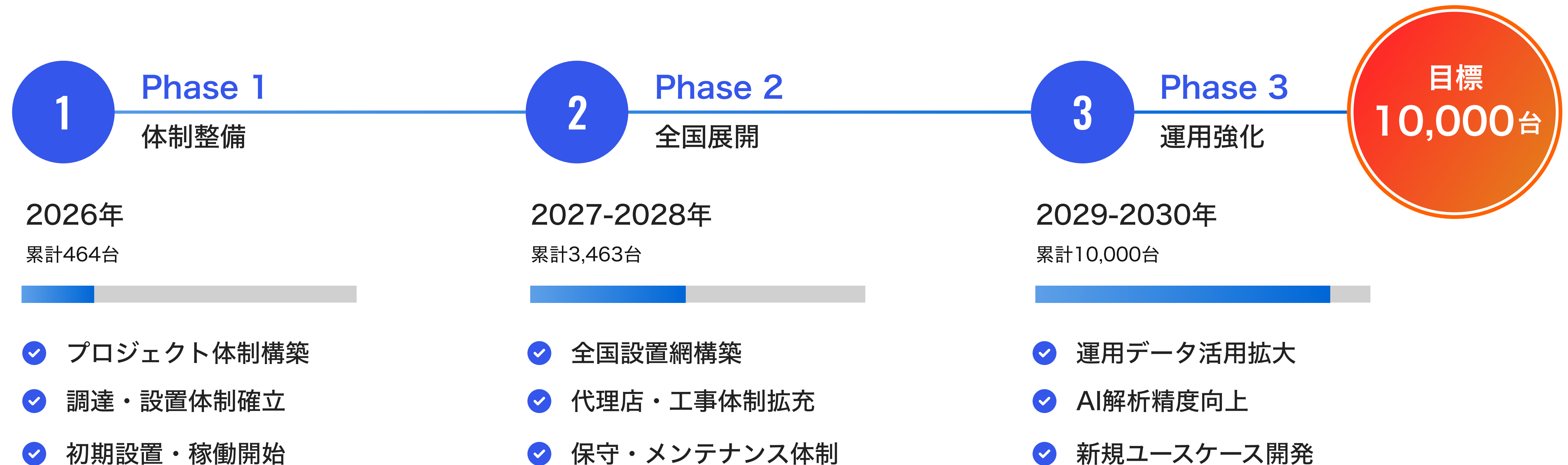
# 10 Message

## 代表者メッセージ

このたび当社は、AIカメラ1万台設置プロジェクト「Project ZERO」に参画いたしました。本件は、AI技術を活用した社会インフラの高度化に資する重要な取り組みであり、当社の成長戦略においても中核を担うものです。当社が推進するAIカメラソリューションやNTT Sportict社との連携によるスポーツDX領域の知見は、本プロジェクトにおける映像データ活用の高度化に寄与すると考えております。さらに、AI音楽生成サービス「フォトロイドミュージック」との連携により、新たなコンテンツ創出にも取り組み、持続的成長の実現を目指してまいります。

株式会社ジェリービーンズグループ  
代表取締役社長 宮崎 明

# 11 体制整備→全国展開→運用強化の 3フェーズで成長を加速



目標：2030年累計10,000台：年間CAGR約45%

# 12 アライアンス企業情報

株式会社ジェリービーンズグループ <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>

Intelligence Design株式会社 <https://i-d.ai/>

株式会社共ショウ <https://www.e-kyosho.co.jp/>

小川電機株式会社 <https://www.ogawa.co.jp/>

株式会社共立電照 <https://mgc-led.com/>